



# 山嶺

## 広島山岳会

会報 第693号 平成18年8月



### 山嶺目次

#### ○山行報告

No.3726 船上山の岩場	神庭
No.3727 沢登り十方山	大前
No.3728 岩登り教室(変更)草刈り	横山
No.3729 玖波～三倉岳	武田
No.3730 島根半島納涼クライミング	宮重(直)
No.3731 牛小屋ヒュッテ風通しメンテ	横山
No.3732 十方山大谷(沢登り)	溝手

#### ○ルームレポート

#### ○9月の山行計画

翌週の三倉山行は武田さん係で、玖波からのボッカを予定しているのですが、土曜日に続いて草刈りをし、今回は岩に触れず、翌週以降に賭けることとした。

土曜日に蜂に刺された神庭さんも再度復活して、刈払機をフル回転させている。中島、武田、横山の3人は鎌を振って太目の雑木を整理しながら先行した。途中昼食を摂ってさらに前進するが、結局第一渡渉点手前までしか前進できなかった。15:00 作業を終了し係を除く3名はセロに向かった。みんなご苦労様でした。

#### No.3729 玖波～三倉岳

7月16日～17日 (係)武田

宮重(直)、中島、横山

#### <行動記録>

天候不順で岩登りができていない。そして、この週末も予報では、雨。少しでも岩に触っておきたいので、16日は、源助崩で岩登りを、17日は玖波側と三倉側両方から草刈りをした。

16日は、時々霧雨が降ったが、風が吹き、快適な岩登り日和だった。両さんパーティと一緒にになったが、この源助は夏は涼しく、冬暖かい岩場で、やはり人が集まってくる。モアイとヒップクラックを登り、久しぶりの岩の感触を味わった。

17日は夜半から雨。8時から草刈りを始めた。中島さんは玖波側から、直ちゃんと私は三倉側から行く。横山さんは、勤務明けに玖波からの草刈りに参加された。行けども行けども合流しない。携帯もつながらず、不安になった3時過ぎ帆立岩でやっと合流した。サルトリイバラとシダのジャングルに道が通ったのは4時半。負荷よりも疲れた草刈りとなった。

#### No.3730 島根半島納涼クライミング

7月21日～23日 (係) 宮重(直)

大前、岡本、吉村、三谷、神庭

中島、山本(文)、会員外大勢

#### <行動記録>

21日大前チームに遅れること約2時間、日付が変わる前ギリギリに会員チームも岡本邸に到着、この晩は10人+子供2人がお世話になった。時間なんて気にせずいつものように2時すぎまでおしゃべり、窓

## 山行報告

### Climbing Reports

#### No.3726 船上山の岩場

7月2日 (係) 神庭

雨天のため中止しました。

#### No.3727 沢登り十方山

7月8日～9日 (係) 大前

大雨警報が出ていたため中止にしました。

#### No.3728 岩登り教室 (変更)草刈り

7月8日～9日 (係) 横山

宮重(直)、神庭、武田、中島

#### <行動記録>

当初の計画では、天応での岩登り教室パート4を予定していたが、長梅雨の影響で今回も変更を余儀なくされてしまった。

米子から遙々遠征してきた神庭さんと夏合宿のCL担当である宮重さんは、土曜日から岩登りのできる態勢をとっていたが、急遽三倉街道の草刈りに転戦し、三石からの藪道に挑むことになった。

土曜日は午後一旦天候が回復するも、夕方から警報を伴う大雨となり、日曜日にも岩登りトレーニングを諦めざるを得ない状況となった。

には大きなたるてる坊主が2つ。岡本次男君の作品で、重たそうな頭は下を向いて逆立ち寸前である。みんなで笑っていたのだが、結局このてるてる坊主のおかげで天気予報を覆し雨に遭わずにすんだ。

22日美味しいコーヒーをご馳走になりゆるゆると準備にかかる。さて、どこに行こう？晴れている。しかしこの一週間降っていた雨で壁の状態は期待できない。まずは浜が綺麗と噂の「沖泊」というエリアに偵察に行ってみることにする。モチロン、係も行ったことはない。手前の海水浴場で大前ファミリーと別れて沖泊港へ向う。地図とルート図を神庭君に手渡すだけでその岩場は見つかった。しかし浜へ下るには背丈ほどのカヤの中を、ここ数日間の雨で滑りやすくなった泥道を下らねばならなかった。明るい浜をイメージして短パンで来てしまった数名はこの一撃で下腿傷だらけの刑に。足をかきむしりながら着いた浜はハンゲル文字のペットボトルや木切れが散乱、とても快適とはいえない。おまけに岩には「サザエ、アワビ、とるな」と書いてある。これでは意地でものぼりに来たんだというところを見せねば(誰に?)昼寝をはじめた岡本さんと大前さんをおいて各々みやすいルートにとりつく。といっても短いルートだし、本数も少なく、13時には撤収となる。そうそう、ここは下見なんだもの。神庭嫁と中島嫁はまだ海に入っていない状態である。

ここで快適さが実証済みの「片句」に移動。後から振り返るにこの時点で岡本さんにスイッチが入ったようだ。家族サービスに切り替えた大前さんと別れてから、地理に疎い我々にそこは右、そこ左、とデリカの後部座席から指示をとばし片句まで案内、しかも岩場までのアプローチも先行、去年通った3級程度の岩場を通らずにトラバースしていく道を「こっちがいいよ」と。さらに岩場に着き、我々が岩に取り付いた頃にはすでに海の中に……。海に浮かぶ岡本さんと神庭君を横目に三谷、山本(文)、宮重(直)はクライミング。奥様たちも水着に着替え楽しそう、しかし一瞬だった。みるみる高くなった日本海の波に太腿までしか入れなかったとか。そんなわけでクライミング組とおくつろぎ組に別れて過ごしていたら、去年お世話になった島根のクライマー、岩崎君が現れる。少し移動すると波のないところがあり、そこで泳いでいたらしい。この情報は翌日非常に役にたった。

岩崎君と一緒に現れたクラッチ(林業クライマーNo3、女性)は、いきなり溶け込んで、奥様たちと仲良く談笑していた。さて制限時間となり買出しをして岡本邸へ、キャンプ組はそのままお風呂へ向う。お風呂から帰ってみると、バーベキューコンロを中心に宴会場は完成、島根のメンバーもすでに到着していた。

ここで、今晚のメンバーを紹介。特別ゲストの島根メンバーは、去年もおなじみの岩崎君。この冬は元谷でスキーしているところを例会でバツリ遭いましたね、

皆さん、覚えてますか？そして島根にこの人ありの阪井君一家。去年は奥さんと子供さんの参加でしたが、今年は本人登場。この晩もいろんな人と楽しそうに話をしていたが、彼について補足をするなら、とっても上手なクライマーなのである。上手いだけならいまだきの若いモンはすぐに上手になるのだが、阪井氏は島根唯一のクライミングジム「Mウォール」の立ち上げを行った。営利目的ではなく、自分たちが練習できるだけのジム。広島「セロ」もこれに強く影響されたのは間違いない。そして、その性格は若者をひきつけ、島根勢のフリークライミングのグレードは一気に押し上げられ、クライマーの年齢は一気に若返った。また、彼のブログは内容が濃くファンも多い。クライマーの身体のメンテナンスから最近のクライミングを取り巻く社会事情まで盛りだくさん、一度覗いてみては？

では広島勢へ。まず、大前一族、大前さんと3人娘、さらに長女家族には娘二人、大前家三代勢ぞろいである。この中で男性は大前さんと婿さん2人だけ、なんとまあ・すでにビール片手に初対面の方とも親交を深めておられる。会報に載せる前から参加表明してくださり、「こんなことはめったにないから」とジイジイとっても楽しそう。家族参加では、神庭家、中島家。今日は奥様方をブッシュ、ドロドロの斜面と引きずりまわしてしまったが、だんな様のフォローでここまでたどり着きました。次にシングル？チーム三谷、山本(文)、係。これといって特徴ないので次へ。肉が焼け上がった頃に到着したのは吉村さんとそのトライアスロン友達1名。泳ぐ？気満々である。そして、毎年お世話になっている岡本さん一家。今年も嵐のようなこの集団を快くもてなしてくださいました。あちらこちらで岩の話や沢の話、茸の話など聞こえ、普段は違うフィールドでもやっぱり仲間が集まれば楽しい。一人抜け、二人抜け、もうダメ、最後まで見届けられましえん・

23日何度来ても岡本邸の朝は気持ちいい。雨もまだ落ちていない。今日もゆっくり9時出発。大前さんは家族サービスで観光モードにスイッチオン。後で合流するという岡本さん達の見送りを受け片句へ。今日はアプローチから岩場と海水浴に別れる。係は去年から気になっていた10dのルート「ドン・ガバチョ」めざし岩場組となるが、昨日より濡れていて今年もパス、またまた来年送りだ。約束の時間がきたものの、1時間延長して泳ぎタイムを作り(係の横暴、どうだ!!)、駐車場で解散した。

ホントにわがままな係で、皆さんご迷惑をおかけしました。山陰支部の皆さん、お世話になりました。岡本さん、今年もお世話になりました。でも確か、「もう一晩くらい泊まったら」って言ってましたよね？では、来年(J)



### No.3731 牛小屋ヒュッテ風通しメンテ

7月29日(係) 横山

安藤、居内(会員外)

#### <行動記録>

岩登り合宿直前のこの時期に、なぜ恐羅漢に入山するのか。今になっては疑問であるが、計画時点では縦走の合宿パーティーも想定されていたものであり、結果論的に的外れの山行となったのである。

日曜日が仕事である係は、金曜日の21:00小屋に入るが、当然のごとく誰も来ていない。持参したLPGボンベ2本を早速ボンベ庫にセットし各窓を開放すると、爽やかな冷風が小屋の中を通り抜けていく。飲料水は、キャンプ場管理棟トイレから10リットル頂きお湯を沸かし、缶ビールを1本開けた頃、やっと安藤さんと居内さんが入山して来られた。翌々日の日曜日は、岳連の沢登り交流会(韓国高校生との)があり、その支援をするという安藤さん達も翌日の土曜日は小屋のメンテが手伝えるとのこと。翌日は頑張ろうということで、24:00には宴を締めることにする。

土曜日は5:00起床。朝一番に草刈りを全員で開始し、7:00には刈り終えることができた。遅い朝食を摂り、今度は水場の整備に取りかかる。取水口部分にダムを構築し、ストレーナーを埋設するのだが、沢底部分を掘り下げるのに結構エネルギーを消費した。

11:00には全ての作業を終了し、安藤さん達は翌日の沢ルートの下見に出かけることとなり、係は業務終了ということで恐羅漢を後にした。なお、安藤さんは翌日も恐羅漢に滞在するという事なので、小屋の風通しは日曜日まで延長して頂くことにした。

追伸、8月は風通し例会山行が組めませんでしたので、安藤さんをお願いしてみたところ、盆前の風通しを、快く引き受けてくださいました。よろしくお願ひします。

### No.3732 十方山大谷(沢登り)

7月30日(係) 溝手

#### <行動記録>

事前に参加申し込みがなかったので、中止にしよう

かとも思ったが、登ったことがない沢だったので多少興味があり、1人で登ってみることにした。

取付の大谷橋付近に5、6台駐車可能。ここで偶然にも同じく大谷を登るJACの池本さんらの5人パーティーと出会った。午前9時、遡行開始。JACパーティーが先行したが、途中でJACパーティーよりも先行させてもらい、その後、二度とJACパーティーと出会うことはなかった。

大谷は小滝が多く、大きな滝でも8m程度であるが、美しいゴルジュや2~3段の滝もあり、それなりに楽しめる。初心者がいる場合は、1、2回ロープを出すようになるかもしれないが、滝はすべて直登できる。梅雨が明けたばかりなので、全体的に水量は多かったはずだが、水量が少ないとこの沢は面白くないだろう。

途中で左側に合流する奥俣(これは別ルートになる)のF1(15m)は登りがいのありそうな滝だが、今回は眺めるだけだった。

10年前に坂根谷でマムシに咬まれて2週間入院して以来、久しぶりの沢登りだった。途中で休憩しながら待ち時間や無駄なおしゃべりの時間がなく、12時20分、沢の源頭から50mも歩くと、あっけなく登山道に出た。ガイドブックには遡行時間6~7時間と書いてあったが、恐らく、その半分はロープを出したり、誰かが全身を水の中に浸したりするのを眺めている時間なのだろう。

十方山山頂でのんびりと昼食をとる。この日、下界は猛暑だったが、山頂は涼しい風が吹き、快適だった。瀬戸滝の近くを通る登山道を通って下山し(14時45分)、車道を30分歩いて駐車場所まで戻った。

## ルームレポート

### Meeting Reports

#### 山の茶話会

月日	7月10日(月)
出席者	久保(信)、武田、竹本、中島、高田
内容	・事務連絡 寄贈会報紹介 ・山行報告 九州鉾岳(6/24~25)・・・雨天中止 船上山(7/1~2)・・・雨天中止 岩登り教室(7/9)・・・雨天中止 ・次回山行打合せ ・夏合宿について

#### 山嶺の集い

月日	7月20日(木)
出席者	久保(信)、山田(昌)、名越、横山、安藤宮重(直)、武田、山本(文)、高田
内容	・事務連絡 ・山行報告

玖波～三倉岳(7/16～17)・武田

- ・次回山行打合せ
- ・新入会員募集について
- ・9月の山行計画

**役員会**

月 日 8月1日(火)

出席者 久保(信)、横山、吉村、安藤、武田、宮重(直)、宮重(栄)、竹本、中島

- 内 容
- ・夏合宿について
  - ・新入会員勧誘方法について
  - 『山と溪谷』に一枠 13,000円に掲載
  - ・牛小屋ヒュッテ積立金について
- 目標額:撤去費+改修費 850万円

**寄贈会報**

松江アルペンクラブニュース 6月号 松江アルペンクラブ

**会費領収**

- ・平成18年度(8,000円)

**訂正**

先月号の中島 聡さん住所変更で、電話番号が違っていました。正しくは [ ] です。

## 9月の山行計画

**Climbing Plan**

No.3737 極楽寺山 田部さんシリーズ第18回  
(係)宮重(直)

月 日 9月3日(日)

内 容 夏休み明けの田部さんシリーズは、例年ゆっくりお昼を食べてくつろぐリハビリ山行となっています。18回目の今回は極楽寺、頑張って早起きして、お昼はそうめん、アルカディアビレッジで汗を流して余力あるものはセロへ流れましょう。

集 合 JR 宮内串戸駅 7:30

地 図 廿日市

必要装備 そうめんの薬味、食器、入浴セット

連絡先 [ ]

No.3738 栗栖の岩場の開拓 (係)名越・大前

月 日 9月10日(日)

内 容 既成ルートがどんどん登れるようになったら次はルートを開いてみましょう。すぐ近くには川もあるし水浴びしながらルート開拓を。

9月9日夜、山小屋大前は営業しています。

集 合 9月10日 8:00 山小屋大前

要申込 名越又は大前まで

No.3739 陶ヶ岳(クライミング)⊕ (係)山本(文)

月 日 9月17日(日)～18日(月祝)

内 容 春秋恒例の陶ヶ岳クライミングです。残暑厳しい折ですが、たっぷり汗を流しましょう。いつものキャンプ場で一泊の予定です。

要申込 9月10日まで

No.3740 ミステリーハイキング(氷ノ山、扇ノ山)⊕

(係)安藤

月 日 9月22日(金)～24日(日)

内 容 22日(金)21時頃、広島を出発～深夜どこかで寝ます。23日(土)は、氷ノ山を8時間位縦走し、扇ノ山に移動。扇ノ山の頂上小屋はブナに囲まれたペンションで、360度の展望があり、一度は泊まりたい所です。

24日(日)は、単独行で有名な加藤文太郎記念館と、隣の浜坂温泉に入って帰ります。登山というよりツアーのようですが、憧れの文太郎に会いに行きましょう。

要申込 締切は9月9日にします。

せっかくの連休なので、どこか遠方を計画しましたが、4名以上いないとガソリン代が高くつきます。申込み状況により、安藤の知人にも声をかけたり、近くになる可能性もあります。

<石見冠山と三瓶山が代案>

[ ] 安藤

## 9月の集会

於「たむら」2階 19時～

役員会	9月5日(火)	
山の茶話会	9月8日(金)	司会:中島
山嶺の集い	9月20日(水)	司会:武田
会報編集	多賀谷: [ ] 竹本: [ ] 原稿締切 山の茶話会まで	

発行日 平成18年8月21日

発行者 広島山岳会 [ ]  
[ ]  
久保 信義 方

郵便振替 [ ] 広島山岳会

年会費 ¥8,000

印刷 広島山岳会 会報係

U R L <http://www.megaegg.ne.jp/~hac/>